

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新人研修、職員研修、日々の勤務で管理者が伝え、説明・共有している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染予防のため、地域交流が難しい状況。感染状況が落ち着けば、交流を図っていききたい。	新型コロナウイルス感染予防のため、地域のイベントが中止になり、参加が出来ていない。 地域参加型の避難訓練を行い、自治会長と交流を持っている。		新型コロナウイルス感染予防のため、入居者・職員が外出の自粛をしている。 レクリエーションや敷地内の庭で野菜を植える等出来る限りの楽しみが行われている。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染状況が落ち着いている時に、開催した。感染状況が落ち着いていない時には、資料配布、意見徴収。委員の中に自治会長や消防機関の職員がおり、避難訓練の報告時にはいろいろご意見を伺えた。	新型コロナウイルス感染予防で対面での開催が1回しかできていない。対面での開催が出来ない時には、資料を配布し、電話連絡で意見を伺っている。		新型コロナウイルス感染予防で、中々対面で出来ないが、感染が落ち着いたら、入居者の状況報告等を伺いたい。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市の担当者の方とは、コロナウイルス予防接種や制度面で不明な事がある時には、連絡を行い、回答を頂いている。	開設し、1年目の為、まだ制度面で不明な内容や新型コロナウイルス感染予防、ワクチン、運営推進会議等不明な点はその都度、助言を頂いている。		不明な点等は、確認されていると思います。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化会議や研修で身体拘束について学んでいる。玄関の施錠については、安全面のため、夜間と必要に応じて施錠している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修や会議を通じて、対応されていると思います。運営推進会議を活用され、年4回開催の内1回を身体拘束適正化会議も行われている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化会議(4回/年)や研修(2回/年)で虐待防止関係についても学んでいる。身体拘束適正化会議は、運営推進会議を活用して対応している(4回の中の1回を運営推進会議で対応)。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議を活用し、身体拘束適正化会議が行われている(新型コロナ感染者が多かったため、資料配布、意見の確認で対応を行う)。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ①あまりできていない D. ほとんどできていない	社内研修で成年後見制度について対応しているが、機会があれば外部研修も感染状況を見ながら行っていきたい。			新型コロナウイルス感染予防もあるが、社内研修を活用されて対応されている。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約当日、説明・同意後、署名捺印を行っている。また後日不明な点があれば、面会時や常時電話連絡で疑問点を確認・返答している。			契約時や契約後に不明な内容は確認を行えている。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者・家族に関しては、ご意見。要望を言って頂けるように面会時や電話やメールで対応している。		A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	要望があがれば、全職員へ周知しておられる
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全体会議や何かあれば会議以外でも対応している。又必要に応じて、職員会議を開催し、意見を聞いている。会社へ報告する内容は、経営会議で報告している。			コロナ禍で外部研修が出来ていない状況ですが、オンライン研修の活用をされていると思います。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就業環境については、職員から意見があがった時には、管理者より代表者へ伝えている。勤続年数や資格に応じた、賃金テーブルを設定している。		A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で感染予防のため自粛をされている事も多いと思います。今後も働きやすい環境になると良いと思います。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染予防のため、必要最低限の研修(オンライン研修)の参加、他職員が希望する研修は感染状況を見ながら参加している。		A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で外部研修もオンラインを活用し対応されていると思います。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染予防のため、GH協会、GH連絡会、劇団/一期一会の活動は制限しているため、オンライン研修の活用やコロナが落ち着いたら上記活動を再開予定。			新型コロナウイルス感染予防のため、対面の研修が中止になったりする中、オンライン研修の活用をされている状況。また、劇団/一期一会もコロナが落ち着いたら、再開を楽しみにしています。

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	過去の生活歴も出来る限り把握し、ご本人の要望も聴きながら、職員と一緒に畑仕事や食器拭き等を行っている。			入居者の方とも開設をされてから、1年間の中で少しずつですが信頼関係の構築をされてきたと思います。今後も入居者の方の楽しみや出来ることを一緒に行って頂きたいです。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染予防のため、面会謝絶の時には、電話を活用し関係性が途切れないように対応している。面会も一部緩和した時には、ソーシャルディスタンスを保ち、三密に気を付けながら15分程度対面で面会を行った。			新型コロナウイルス感染予防のため、中々面会等も制限があるが感染状況が落ち着いている時には、短時間で感染予防をし、面会を行われている。感染者数が多く、面会が出来ない時には、電話連絡(本人と家族、知人)で関係性の継続を行われている。
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	過去の生活歴や本人の要望・希望を確認しながら、叶えられる内容(畑仕事や外気浴等)は対応している。			本人にできる限り意向を確認され対応されていると思います。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護支援専門員が中心となり、更新時にモニタリングを行っている。また、全体会議(毎月開催)内でケアプランに関するモニタリングを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護支援専門員の方から連絡を頂き、要望を伝えている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人日誌やヒヤリハット、よかったホット等を活用し、職員間で情報共有を行っている。また、以前より変更した内容や入居者の要望に関しては、介護計画書の見直しを必要に応じ行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の状況を確認され、日誌や要望などは、書式で情報提供されていると思います。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族より要望がでた場合、要望シートを作成し、職員へ情報共有を行っている。医療面に関しては必要に応じ、主治医、理学療法士、作業療法士等から助言を頂いている。歯科に関しても歯科医から助言を頂く。			入居者の方の個々の状況を確認され、対応されていると思います。

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染予防のため、地域交流、共同が難しい状況。感染状況に応じて、対応していく予定。外出が難しい時には、室内のイベント(夏祭り、クリスマス会、誕生日会等)を充実させていく。	新型コロナウイルス感染予防のため、地域交流、地域資源の活用が難しい状況。		新型コロナウイルス感染予防でなかなか外出が難しいですが、室内でも本人が楽しめる事を対応していると思います。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	初診後以降は、24時間往診が行われている。また必要に応じて訪問看護や訪問歯科も活用し対応している。			いつも、体調不良等何かあれば、担当の方や看護職員の方から連絡を頂いているので、安心しています。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院事例はないが、主治医判断後、家族判断で入院を行う。入院先に情報提供を行う。退院時には、地域連携室と協力し、入院時の情報提供をして頂く予定。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院事例が現在までなし。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に重度化した時の本人(又は家族)の意向を確認(家族には、状況が変化した時に再度要望の確認と内容の変更は可能と伝えている)、主治医が看取りの判断を行った場合、看護職員が家族の意向を再確認し、主治医へ報告を行う。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に重度化した時の意向を確認されています。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事故・緊急時のマニュアルを作成し、供覧していると共に全体会議や看護職員が個別に情報提供を行っている。 何かあれば、その都度看護職員、主治医の判断を仰ぐ。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回地域参加型の避難訓練(そのうち1回は防災訓練も含む)を行っている。コロナの状況が落ち着けば、家族も参加予定。新田の楽さん家と共同で開催するため、理解者(自治会長、地域役員)がいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域参加型の避難訓練が行われている。避難訓練にコロナ禍の感染予防・蜜を予防するためと体調不良等での参加が出来ない入居者の対応で職員の参加が少ないので、そこが課題になってくると思います。

							現状は、コロナ禍で地域の方の参加は自治会長のみとなっている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自尊心、羞恥心に配慮し、声掛けを行っている。入浴時にも脱衣所にカーテン(防災)を使用し、他者から姿が見えないように配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の方の自尊心、羞恥心に配慮され対応をされていると思います。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者とコミュニケーションを図りながら、要望や食事の時間をずらしたり、起床時間も本人の夜間の状況や体調も踏まえ対応している。			入居者の方の要望があるので、その都度対応されていると思う。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の好き、嫌いを把握し、対応している(嫌いな物は細かくする等)食器拭き等も出来る方と一緒にやっている。 イベント(節分、ひな祭り等)では、恵方巻や桜餅を一緒に作った。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染予防のため、中々外食も出来ず、室内でもイベントを行われ、恵方巻や桜餅等季節のものを対応されています。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ナリコマの栄養士の方が約1400カロリー/日で計算している。食事量、水分量は個人日誌やバイタルチェック表で量の把握をしている。			入居者の方に合わせた対応をされていると思います。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後口腔ケアを行い、清潔を保っている(本人の状況に応じて、歯ブラシや口腔スポンジを使用)。必要に応じて、歯科医師、歯科衛生士に口腔内のチェックや助言を頂く。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の方の状況を見ながら、対応をされ、また入居者の方が出来る所は自立支援を目指されていると思います。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人日誌や排便チェック表を活用し、排泄状況の把握に努めている。本人の意向、状況を把握し、各入居者の状況に応じ、リハビリパンツやおムツ等対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自尊心に配慮し、対応されていますね。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の状況に応じて入浴支援を行っているが、夜間(職員一人体制時)に入浴の要望が出た時には、事故予防のため要望に応じられない時がある。			できる限り要望に添われていると思う。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人日誌やご家庭の様子を家族へ確認し、生活習慣や安心して休まれるように配慮している(電気や音の調整)。			入居者の方の状況を見て、配慮されていると思う。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医に状況を報告、相談しながら対応を行っている事と薬剤師の方と看護職員が連携し、24時間何かあれば相談に乗って頂いている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医と薬剤師の方と連携を取り、不明な点は確認をされていると思う。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の方に在宅で生活をされていた時の状況を確認し、畑仕事や折り紙、家事(食器拭き、洗濯物たたみ等)を行っている。			入居前に行われていた折り紙や畑仕事をされていましたね。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルス感染予防のため、外出支援が難しい状況。状況が落ち着いたら、外食や外部のイベントへの参加も検討していく。			外食等なかなかイベントや外出が難しい状況ですが、できる限り室内で楽しまれていますね。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	要望があれば、金銭管理も行うが、現状要望がないため、要望があれば本人、家族と相談しながら対応していく。			現状要望なし。 要望があれば対応される。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の方や知人から電話があれば、その都度本人と会話をされている。年賀状も各個人へ届いた物は、本人へ渡し、返信が可能な方は本人に記載して頂いている。			年賀状、暑中見舞いが届きました。

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有スペースに季節感に応じた飾りつけ(お雛様、クリスマスツリー等)やイベント(正月、節分等)を行っている。室内もバリアフリーや手すりを取り付け安全面に配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有スペースや玄関に季節の飾り物をされている(ひな人形、クリスマス、正月等)。
----	---------------	--	--	--	--	--	---

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. あまりできていない	できる限り本人の思いや希望を伺い、可能な事は対応を行っている。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族(知人)と本人の繋がりが切れないように、電話で話をしたり、はがきでのやり取り(年賀状、暑中見舞い)を可能な方には職員がサポートを行い対応している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康面、医療面に関しては、本人の状況に応じて、主治医と家族と連携し、対応している。本人の身体面に応じて、自室の環境(ベッドやタンスの位置等)を対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	何か医療面であれば、その都度伝えて来ています。(家族が同行出来なかったため)通院後にも状況報告の連絡を頂けてありがたいです。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. あまりできていない	入居前に家族から生活歴の情報収集を行う事と入居後の本人の要望や状況を見て生活を行っている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	在宅で使用していた家具(馴染みの物)や小物(かばんや人形等)を持って来て頂き、使用されている。また家族写真を飾られている方もおられる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に自宅で使用していた物を飾ったり、馴染みの服を持参し、落ち着いて頂けるように配慮されている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染予防のため、外部のイベントに参加が難しい状況。日中に外気浴や短時間の散歩を行っている。			

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員で情報収集を行い、把握に努めている。本人より要望があれば、家事や畑仕事を一緒に行っている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の方とレクリエーションで交流が図れるように配慮しているが、個別で過ごしたいと要望がある方には、必要に応じて職員と個別対応を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の方の要望を聴き対応されていると思います。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルス感染予防のため、地域の方との交流ができていない状況。楽さん家だより(新聞)を近隣の家へ配布し、和楽の現状をお伝えしている。また、地域の方と会った時に挨拶を行い、地域の方と馴染めるよう努めている。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	和楽が開所し、約1年。入居者の方と職員が少しずつ信頼関係が構築できている。地域の方とは、コロナウイルス感染予防のため、交流が難しい状況であるが、落ち着けば、地域の方や保育所の方とも交流を図り、よりよい生活を行っていききたい。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	和楽が開所され、1年経過しました。今後も入居者の方の幸せを願い、コロナ禍で大変ですが、感染予防に努められていると思います。

2. 目標達成計画

事業所名 グループホーム 和楽

作成日: 令和4年3月29日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	コロナウイルス感染予防のため、地域・家族参加型避難訓練の実施が小規模になり、外部の方の参加が限られた状況と入居者の体調不良等で、参加できる職員が少なかったため限られた職員しか避難訓練に参加ができていない状況。各職員へ有事の際は対応できるように情報共有を行う。	① 有事の際の対応を日常の勤務時や会議等を活用し、情報伝達をしていく。 ② 入居者・現場の状況を見ながら、避難訓練に参加し、職員が緊急時の対応ができるようになる。	1、各マニュアルを確認する。 2、地域との連携。日頃から地域の方と会ったら挨拶を行う、楽さん家だより(楽さん家で発行している新聞)を配布する事で、顔なじみになる。 3、年2回の避難訓練(そのうち1回は防災訓練含む)を開催し、職員の参加を促していく。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。